

9月1日（土）海外実地研究7日目

都市交通班の地理学科2年田巻、中村、野尻です。9/1（7日目）の行程は、ストックホルム～オスロ間の移動でした。

ストックホルム～イエーテボリ間は特急電車に乗車しました。乗車した電車は X2000 型と呼ばれており 1990 年に登場した特急電車です。この電車の最高時速の時速 200 キロに達



しストックホルム～イエーテボリ間を約3時間で結んでいます。

ストックホルムを9時24分に発車し、市街地を抜けるのどかな田園風景の中を高速で走りぬけていきました。車窓からは牛や羊、馬などが草を食んでいるのが見えました。

この電車が走る区間は比較的平坦でなおかつ直線が多かったため電車の性能を最大限に発揮

できるように整備されているようでした。約3時間後の12時30分にイエーテボリに無事到着しました。



イエーテボリ～オスロ間はノルウェー国鉄の赤色の急行列車に乗りました。イエーテボリの周辺からは一軒家の住宅が多く軒を連ねており、テレビにできそうなどかな田園風景も見られました。こちらの列車は、前者に比べ丘陵地帯や森林の間をすり抜けるように通っており、カーブやあ坂が多くありました。そのため速度があまり出ず、オ

スロまで約4時間かかりました。またカーブを通過する際は列車の振り子装置が頻繁に作動していました。ノルウェーとスウェーデンとの国境は特に変わったものではなく、地図をよく見ていないと気づきにくいものでした。



16時52分に列車は定刻でオスロ中央駅に到着しました。オスロもストックホルムと同じく素敵な街並み広がっており15分おきにどこからか時刻を告げる鐘の音が聞こえてきます。オスロ中央駅付近から目抜き通りである”Karl Johans”は大勢の人でにぎわっており、様々な国の方が歩いているのが見られました。駅のエントランスを出てすぐ右側にはビーチバレーの会場があり多くの人が観戦しており、日本の都市中心部ではではなかなか見られない光景だと思いました。

作成者（田巻修平・中村夏樹・野尻宝）